

内令
掲載

内令

一五四〇

内令第四百二十三號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八中驅潛艇ノ部「第二十二號」ノ下ニ「第二十三號」ヲ加フ

(内令提製卷一、四五四頁参照)

内令第四百二十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

聯合艦隊司令部

兵科佐尉官 附 一人

機關中少佐 參謀 一人

0571

内令第千四百二十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増派ス

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

軍令部

海軍

部

附 事務五人

南遣艦隊司令部

海軍

部

附 事務一人

減員

海軍兵學校

海軍機關學校

海軍

部

教官 三人

内令

三五四一

0572

内令
要登載

内令

一五四二

内令第四百二十六號

昭和十五年内令第八百二十二號別表中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府、横須賀防備隊 魚雷艇ノ項中「第三號」ノ下ニ「、第四號」ヲ加フ

參照 昭和十五年内令第八百二十二號ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ（内令提要卷三、四八頁）

○正 誤

昭和十六年内令第三百~~九十九~~號中

第九十一警備隊

一一二

一一一

ハ

第九十一警備隊

一一二

一一一

一一一

ノ誤

○正 誤

昭和十六年内令第三百二十七號中一、二〇五頁末行

六四六

ハ

七五七

ノ誤

0573

内令第千四百二十七號

昭和十六年内令第千四十六號中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表横須賀鎮守府ノ部中劍埼ノ項ノ次ニ

秋 津 洲 (砲) 一

ヲ加フ

参照 前記内令ハ艦船部隊ノ科長兼分隊長缺員中當該科ノ特務大尉ヲ臨時増置ノ件ナリ

内令第千四百二十八號

昭和十六年内令第千四十七號中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表第一横須賀鎮守府ノ部中劍埼ノ項ヲ左ノ如ク改ム

劍 埼 一 三 二 一

内 令

一五四三

0574

内令

一五四四

同佐世保鎮守府ノ部中鎮海軍航空隊ノ項兵科分隊長ノ欄「一」ヲ「二」ニ改ム
 同備考四中「海軍航空隊」ヲ「航空母艦及海軍航空隊」ニ改ム

別表第二横須賀鎮守府ノ部中淺香丸及能代丸ノ項中少尉ノ欄ニ各「一」ヲ、第九十一警備隊ノ項ノ

次ニ「第四砲艦隊

(隊附)「一

ヲ加へ、横須賀鎮守府

第一特別陸戰隊ノ項ヲ左ノ如ク改ム

横須賀鎮守府 第一特別陸戰隊		一	〇				
横須賀鎮守府 第三特別陸戰隊		二					

同吳鎮守府ノ部中金城山丸、金剛丸、金龍丸、栗田丸、西貢丸及盤谷丸ノ項中少尉ノ欄ニ各「一」

ヲ、盤谷丸ノ項ノ次ニ

準

應

運

一

一

一

一

ヲ加

へ下關防備隊ノ項「二」ヲ「四」ニ改メ第二砲艇隊ノ項ノ次ニ

横須賀鎮守府
第三特別陸戰隊

三

ヲ加フ

0575

同佐世保鎮守府ノ部中浮島丸ノ項中少尉ノ欄ニ「一」ヲ加ヘ第一防備隊ノ項「五」ヲ「六」ニ、九
島防備隊ノ項「三」ヲ「六」ニ改メ第十九航空隊ノ項ノ次ニ

横須賀鎮守府
第三特別陸戰隊

一
五

ヲ加フ

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツル位置ヲ定ムルノ件ナリ

内令

一五四五

0576

廢止

内令
要登載

内令第四百二十九號 昭和十八年内令第三十二號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三通信隊

兵科特務士官、准士官 附 一人

第六通信隊

兵科特務士官、准士官 附 一人 (横須賀鎮守府在籍者)

第六艦隊司令部

兵科特務士官、准士官 附 一人 (舞鶴鎮守府在籍者)

内令第四百三十號

右特設運送船(給糧船)トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

✓汽船 拓南丸

昭和十六年十一月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一五四七

0577



(内令 第千四百二十九號ハ後送ス)

内令第千四百三十一號 昭和十七年 第一四六〇號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第千七百七十八號中「六十六人」ヲ「八十六人」ニ、「百二十六人」ヲ「百四十六人」

ニ、「七十二人」ヲ「百十一人」ニ、「百三十一人」ヲ「百六十一人」ニ改ム

昭和十六年十一月十七日 海軍大臣 嶋田繁太郎

第四艦隊司令部

特務中少尉、兵曹長 附 一人 (佐世保鎮守府在籍者)

兵 曹、水、兵 百十人 (掌電信兵) (横須賀鎮守府在籍者 三六〇)

機關兵曹、機關兵 二人 (掌機兵 内火) (横須賀鎮守府在籍者)

参照 前記内令ハ第三通信隊等ノ人員臨時減員ノ件ナリ

内令第千四百三十二號 昭和十八年内令第一二七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時減員ス

内令

一五四九

0578

内令



第五通信隊

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

機關兵曹、機關兵

二人 (掌機兵 内火)

内令第四百三十三號

海軍警備隊ノ所屬、名稱及所在地左ノ通定メラル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍警備隊

所屬	名稱	所在地
横須賀鎮守府	横須賀海軍警備隊	横須賀軍港
吳鎮守府	吳海軍警備隊	吳軍港
佐世保鎮守府	佐世保海軍警備隊	佐世保軍港

一五五〇

0579

内令
要
登
録

舞鶴鎮守府 舞鶴海軍警備隊 舞鶴軍港

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

内令第四百三十四號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

要港部定員表ヲ警備府定員表トシ同表中「司令官」ヲ「司令長官」ニ、「鎮海要港部」ヲ「鎮海警備府」ニ改メ同表備考中第三號ヲ第四號トシ第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

三 本表ノ外必要ニ應ジ附トシテ士官又ハ高等文官ヲ置キ他ニ本職アル者ヲ以テ兼補スルコトヲ得

海軍工作部定員表、海軍軍需部定員表其ノ三、海軍病院定員表其ノ四、海軍經理部定員表其ノ二、海兵團定員表其ノ一及海兵團定員表其ノ二ヲ各別表ノ如ク改ム

内令

一五五

0580

内令

一五五二

旅順要港部定員表及阪神海軍部定員表ヲ削ル

大阪警備府定員表、旅順警備府定員表、海軍警備隊定員表及海兵團定員表其ノ三ヲ各別表ノ如ク定

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(別表十葉添)

(内令提要卷一、一四六頁参照)

内令第千四百三十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十六警備隊

0581

特務中少尉、兵曹長	附	一人
兵 曹、水 兵		三十一人 (掌測的兵一、掌機雷兵水測一八、 掌信號兵三、掌電信兵三)
機關兵曹、機關兵		四人 (掌機兵 内火 一)
看護兵曹、看護兵		一人
主計兵曹、主計兵		一人
兵 曹、水 兵		二人 (掌機雷兵 機雷) (機雷保守員ニ充ツベキモノ)

(防備衛所員ニ充ツベキモノ)

内令第四百三十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府第一特別陸戰隊

減員
大 尉 隊附兼分隊長 一人

内令

一五五三

0582

内令

増減員

特務中少尉、兵曹長

隊附

一人

内令第千四百三十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十五年内令第六百六十五號中「二十四人」ヲ「二十三人」ニ、「九十八人」ヲ「七十八人」ニ、「

「八百十四人」ヲ「六百七十三人」ニ、「二百三十九人」ヲ「二百人」ニ改ム

昭和十六年内令第二百六十一號中「千五十八人」ヲ「九百九十三人」ニ、「三百九十三人」ヲ「二

百八十八人」ニ、「下士官、兵内譯ノ項中「三百四十九人」ヲ「三百四人」ニ、「八十一人」ヲ「七

十六人」ニ、「百十三人」ヲ「九十三人」ニ改ム

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

海南警備府

一五五四

0583

特務中少尉 曹長	附	四人	二人	一人
機關特務中少尉 兵曹長	附	二人		
兵曹、水兵	兵	百七十九人	百四十六人	百八十一人
機關兵曹、機關兵		六十五人	五人	三十九人
看護兵曹、看護兵		五人	四人	
主計兵曹、主計兵		七人	五人	
		橫須賀鎮守府在籍者	佐世保鎮守府在籍者	舞鶴鎮守府在籍者

特修兵ハ適宜トス

減員

青島方面特別根據地隊

特務中少尉、兵曹長附 二人

兵曹、水兵 百四十六人

内令

五五五

0584

内令

一五五六

機關兵曹、機關兵

五人

(特修兵適宜)

看護兵曹、看護兵

四人

主計兵曹、主計兵

五人

廈門方面特別根據地隊

特務中少尉、兵曹長 附

四人

機關特務中少尉、機關兵曹長 附

二人

兵曹、水兵

兵 百三十四人

(特修兵適宜)

(横須賀鎮守府在籍者)

機關兵曹、機關兵

六十人

看護兵曹、看護兵

五人

主計兵曹、主計兵

七人

参照 昭和十五年内令第六百六十五號ハ上海海軍特別陸戰隊ニ人員臨時増置ノ件
昭和十六年内令第二百六十一號ハ支那方面艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件

内令第四百三十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減シ昭和十六年十一月十五日ヨリ之ヲ適用ス

0585

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

霞ヶ浦海軍病院

増員

藥劑科佐尉官 部員 一人

減員

藥劑中少佐 藥劑部長 一人

内令第千四百三十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十六年十一月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

聯合艦隊司令部

第三艦隊司令部

第六艦隊司令部

内令

一五五七

0586

内令

一五五八

南遣艦隊司令部	
第一航空艦隊司令部	
第十一航空艦隊司令部	
機關大中佐	附
兵	曹
機關兵	曹
第一艦隊司令部	
第五艦隊司令部	
兵	曹
機關兵	曹
第三艦隊司令部	
機關大中佐	附
兵	曹
機關兵	曹
	二人
	一人
	一人
	二人
	一人
	二人
	一人
	一人
	二人
	一人
	二人

0587

内令
要
登
載

第四艦隊司令部

機關大中佐	附	二人
兵科佐尉官	附	二人
兵	曹	一人
機關兵曹		一人

内令第四百四十號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ二ノ二舞鶴海兵團ノ項中掌砲兵ノ欄「二八」ヲ「二三」ニ、「二九」ヲ「二〇」ニ、
 掌機兵高罐ノ欄「八」ヲ「七」ニ、同普内火ノ欄「六」ヲ「五」ニ、掌經理兵ノ欄「一六」ヲ「一
 五」ニ改ム

特修兵配置表其ノ二ノ三中「要港部」ヲ「警備府」ニ改メ旅順ノ項ノ前ニ左ノ如ク加フ

内令

一五五九

0588

要
令
載
正



内令第四百四十一號 昭和十八年内令第一〇八號
給幕僚部令左ノ通定メラル
ニテ本號廢止

内令

一五六一

(内令提要卷一、四二六ノ一頁参照)

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

附則

「三二」ヲ「三一」ニ改メ同表備考第二號中「海兵團」ヲ「横須賀第二海兵團、大竹海兵團及佐世保第二海兵團」ニ改ム
同表備考第三號中「横須賀海兵團」ヲ「横須賀第一、第二海兵團ニ通ジテ」ニ、「吳海兵團」ヲ「吳、大竹海兵團ニ通ジテ」ニ、「佐世保海兵團」ヲ「佐世保第一、第二海兵團ニ通ジテ」ニ改ム
特修兵配置表其ノ四ノ二中阪神海軍部ノ項ヲ削ル
教員配置表其ノ二海兵團ノ部中「横須賀」ヲ「横須賀第一、第二(通ジテ)ニ」、「吳」ヲ「吳、大竹(通ジテ)ニ」、「佐世保」ヲ「佐世保第一、第二(通ジテ)ニ」、同表備考第一號中「横須賀」ヲ「横須賀第二」ニ、「吳」ヲ「大竹」ニ、「佐世保」ヲ「佐世保第二」ニ、同表備考第二號中「横須賀海兵團」ヲ「横須賀第一海兵團」ニ、「佐世保海兵團」ヲ「佐世保第一海兵團」ニ改ム

0590

内令

一五六二

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

補給幕僚部令

第一條 艦隊及鎮守府ニ補給幕僚部ヲ置ク

第二條 補給幕僚部ハ補給ニ關スル幕僚事務ヲ掌ル

第三條 補給幕僚部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長

部員

附

第四條 部長ハ當該艦隊又ハ鎮守府ノ司令長官ニ隸シ部務ヲ總理ス

第五條 部員ハ部長ノ命ヲ承ケ服務ス

前項ノ外部長ノ指定スル部員ハ部長ヲ佐ケ部務ヲ整理ス

第六條 附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第七條 補給幕僚部ノ定員ハ別表ニ依ル

(別表一葉添)

0591

第十八表ノ四

大阪警備府定員表

(昭和十六年内令第四百三十四號)

考 備	計		附	幕				司令長官 中 將	
	特務	士官		主計長	機關長	副官	參謀		參謀長
	士官	士官		主計少將、主計大佐	機關大、中、佐	少佐、大尉	少佐、大尉		中少佐
三	二	九人 内兼務三人	一	一	一	二	一	一	
二	判任文官	下士官	書記	主計兵曹					
一	三人	三人	三	三					

一 參謀(兼務)一人ハ副官ノ兼務トス
 二 本表ノ外必要ニ應ジ附トシテ士官又ハ高等文官ヲ置キ他ニ本職アル者ヲ以テ兼補スルコトヲ得
 三 本表ノ外必要ニ應ジ陸軍佐尉官二人以内ヲ置キ陸軍參謀タル陸軍將校ヲ以テ兼補ス

0592

旅順警備府定員表

考備	計			附	部員	分隊長	港務部長	僚					幕			司令長官	中將						
	特務士官	高等文官	士官					主計特務中少尉	機關特務中少尉	特務中少尉	主計少佐、主計大尉	機關少佐、機關大尉	少佐、大尉	港務部長	法務長			主計長	軍醫長	機關長	副官	參謀	參謀長
	三人	一人	十七人 内兼務五人					一	一	一	一	二	一	兼務	兼務			兼務	兼務	兼務	兼務	兼務	兼務
兵	判任文官	下士官	准士官	主計兵	看護兵	工兵	機關兵	水兵	支手	書記	主計兵	看護兵	工兵	機關兵	兵	主計兵	工作兵	機關兵	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	
百十七人	三人	四十二人	五人	四	四	六	十四	八十九	一	二	七	二	三	九	二十一	一	一	一	一	二	二	二	二

(昭和十六年内令第四百三十四號)

第十九表ノ五

海軍工作部定員表

(昭和十六年内令第四百三十四號)

考備	計	副部員		検査官		長	
		主計少佐、主計大尉	機関科、造船科佐尉官	機関中少佐	機関少佐、機関大尉		
一部員又ハ副部員タル士官ハ指定科別ニ依ラザルコトヲ得	内兼務 四人	兼務一			兼務一	兼務一	大湊
	内兼務 五人	兼務一	兼務一		兼務一	兼務一	鎮海
	内兼務 五人	兼務一			兼務一	兼務一	馬公
	内兼務 五人	兼務一			兼務一	兼務一	旅順
	判任 文官		技 手		書 記		
	四人		三		一		大湊
	五人		四		一		鎮海
	六人		五		一		馬公
六人		五		一		旅順	

0594

海軍軍需部定員表 其ノ三

(昭和十六年内令第千四百三十四號)

考 備	計		附		部 員		長		大湊	鎮海	馬公	大阪
	特 務	士 官	特 務	機 關	少 尉	大 尉	兵 科	機 關				
一 部員タル士官ハ指定科別ニ依ラザルコトヲ得 二 本表ノ外必要ニ應ジ部員トシテ各科士官及技師ヲ置キ他ニ本職アル者ヲ以テ之ヲ兼補スルコトヲ得	四人	二人	二	一	一	一	一	一				
	四人	三人	二	一	一	一	一	一				
	三人	三人	二		一	一	一	一				
	一人	二人			一	一	一	一				
	三人	五人	一	二	一	一	一	二	大湊			
	三人	八人	一	二	二	一	二	三	鎮海			
	三人	五人	一	二	一	一	一	二	馬公			
	二人			二					大阪			

第二十三表ノ四

海軍病院定員表 其ノ四

計		附		副官		長			
士官		軍醫科尉官		軍醫少佐、軍醫大尉		軍醫少佐、軍醫大尉		軍醫大、中佐	
内兼務 二人	六人	二	二内兼務 一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
内兼務 二人	六人	二	二内兼務 一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
内兼務 二人	六人	二	二内兼務 一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
内兼務 一人	四人	一	一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
兵	下士官	准士官	主計兵	看護兵	主計兵曹	看護兵曹	看護兵曹長		
十六人	六人	一人	二	十四	一	五	一	大湊	
十四人	八人	一人	二	十二	一	七	一	鎮海	
十四人	八人	一人	一	十三	一	七	一	馬公	
十二人	六人	一人	二	十	一	五	一	旅順	

(昭和十六年内令第四百三十四號)

0596

第二十四表ノ二

海軍經理部定員表 其ノ二

(昭和十六年内令第四百三十四號)

計	士	附	部員	長	第一課長	第二課長	第三課長	主計大佐	主計中少佐	主計大尉	主計少將、主計大佐	舞鶴大阪	舞鶴大阪
	特務士官												
特務士官	士官												
二人	十一人												
	内兼務一人												
判任文官	下士官	書記											
六人	二人												
十人													

0597

第二十四表ノ七

海軍警備隊定員表

(昭和十六年内令第四百三十四號)

考 備	計		隊 附				隊 附				參 謀		司 令 官		横須賀	吳	佐世保	舞鶴	
	特 務 士 官	士 官	主 計 特 務 中 少 尉	看 護 特 務 中 少 尉	機 關 特 務 中 少 尉	特 務 中 少 尉	主 計 科 尉 官	軍 醫 科 尉 官	中 少 尉	少 佐、大 尉	中 少 尉	兵 科 佐 官、大 尉	主 計 少 佐、主 計 大 尉	軍 醫 少 佐、軍 醫 大 尉					機 關 中 少 佐
一 分隊長ハ隊附士官ノ兼務トス 二 隊附少佐、大尉一人ハ特務大尉ヲ以テ隊附中少尉ノ中二人ハ特務中少尉又ハ兵曹長ヲ以テ充ツ ルコトヲ得	六人	十五人 <small>内兼務 四人</small>	一	一	一	三	一	一	三	一	一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
	六人	十五人 <small>内兼務 四人</small>	一	一	一	三	一	一	三	一	一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
	六人	十五人 <small>内兼務 四人</small>	一	一	一	三	一	一	三	一	一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
	六人	十五人 <small>内兼務 四人</small>	一	一	一	三	一	一	三	一	一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
	兵	下 士 官	准 士 官	主 計 兵	看 護 兵	工 作 兵	機 關 兵	水 兵	主 計 兵 曹	看 護 兵 曹	工 作 兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹	工 作 兵 曹	兵 曹 長				
	五百三十二人	八十二人	二人	十六	五	五	三十	四百六十六	四	一	一	七	六十八	一	一				
	五百三十二人	八十二人	二人	十六	五	五	三十	四百六十六	四	一	一	七	六十八	一	一				
	五百三十二人	八十二人	二人	十六	五	五	三十	四百六十六	四	一	一	七	六十八	一	一				
	五百三十二人	八十二人	二人	十六	五	五	三十	四百六十六	四	一	一	七	六十八	一	一				

0598

海兵團定員表 其ノ一

(昭和十六年内令第千四百三十四號)

考	備	計		兼團教官附								兼團教官								分隊長		主計長		團附		軍醫長		分隊長		機關長		分隊長		副官		兼頭		長	
		特務士官	士	主計	看護	軍樂	工作	機關	特務	中尉	少尉	主計	看護	軍樂	工作	機關	大尉	少尉	中尉	少尉	主計	看護	軍醫	少尉	中尉	少尉	主計	看護	軍醫	少尉	中尉	少尉	主計	看護	少尉	中尉	少尉	中尉	少尉
佐世保第一海兵團	呉海兵團	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所	唐津海員養成所	見島海員養成所	小樽海員養成所	宮古海員養成所		
		十九人	三十九人	二	一	一	四	三	三	五	一	兼務二	兼務二	兼務五	二	兼務六	兼務二	兼務三	兼務六	兼務二	兼務二	兼務五	二	兼務六	兼務二	兼務三	兼務六	兼務二	兼務三	兼務六	兼務二	兼務三	兼務六	兼務二	兼務三	兼務六	兼務二	兼務三	
		十八人	三十八人	三	一	一	一	三	三	六	一	兼務二	兼務二	兼務四	五	兼務五	兼務二	兼務三	兼務五	兼務二	兼務二	兼務四	五	兼務五	兼務二	兼務三	兼務五	兼務二	兼務三	兼務五	兼務二	兼務三	兼務五	兼務二	兼務三	兼務五	兼務二	兼務三	
		十四人	三十人	二	一	一	一	二	三	四	一	兼務二	兼務二	兼務三	一	兼務四	兼務二	兼務三	兼務四	兼務二	兼務二	兼務三	一	兼務四	兼務二	兼務三	兼務四	兼務二	兼務三	兼務四	兼務二	兼務三	兼務四	兼務二	兼務三	兼務四	兼務二	兼務三	
		兵	准士官	主計兵	看護兵	軍樂兵	工作兵	機關兵	水兵		主計兵曹	看護兵曹	軍樂兵曹	工作兵曹	機關兵曹	兵曹	主計兵曹長	看護兵曹長	軍樂兵曹長	工作兵曹長	機關兵曹長	兵曹長		主計兵曹長	看護兵曹長	軍樂兵曹長	工作兵曹長	機關兵曹長	兵曹長		主計兵曹長	看護兵曹長	軍樂兵曹長	工作兵曹長	機關兵曹長	兵曹長			
		三百零二人	三百零二人	三十四	十五	二十四	十一	二十三	百五十七		二十六	十三	五十一	二十八	四十五	六十五	一	五	二	一	二		二十六	十三	五十一	二十八	四十五	六十五	一	五	二	一	二		二十六	十三	五十一		
		二百七十八人	二百七十八人	三十四	十六	十五	十一	三十三	百六十一		二十七	十四	十七	四十	三十三	五十一	一	一	二	一	三		二十七	十四	十七	四十一	三十三	五十一	一	一	二	一	三		二十七	十四	十七		
		二百六十八人	二百六十八人	三十四	十六	十五	十六	二十七	百四十一		二十八	十四	十七	二十	三十四	五十五	一	一	一	二		二十八	十四	十七	二十	三十四	五十五	一	一	一	二		二十八	十四	十七	二十			

一 兵科分隊長ノ中一人ハ特務大尉ヲ以テ、機關科分隊長ノ中一人ハ工作特務大尉ヲ以テ補スル
 コトヲ得
 二 機關長ハ必要ニ應ジ機關大佐ヲ以テ補スルコトヲ得
 三 士官タル兼務教官ハ機關長、軍醫長、主計長及各科分隊長ノ兼務トス
 四 准士官ハ教官ニ充ツ
 五 本表定員中教官タル大尉ハ左ノ區分ニ從ヒ各海員養成所ニ一人宛配屬スルモノトス

考	備	計		兼團 教官附				教官				分隊長		軍醫長		分隊長		機關長		分隊長		副 官頭		長		第 二 横 須 賀	大 竹	第 二 佐 世 保			
		特 務	士 官	主 計	工 作	機 關	飛 行	整 備	軍 醫	機 關	機 關	少 佐	兵 科	主 計	主 計	軍 醫	軍 醫	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關				機 關	機 關	機 關
一 兵科分隊長ノ中三人ハ特務大尉ヲ以テ、機關科分隊長ノ中一人ハ機關特務大尉、一人ハ工作 特務大尉ヲ以テ補スルコトヲ得 二 機關長ハ必要ニ應ジ機關大佐ヲ以テ補スルコトヲ得 三 士官タル兼務教官ハ機關長、軍醫長及各科分隊長ノ兼務トス 四 准士官ハ教員ニ充ツ 五 本表中飛行科又ハ整備科ノ特務士官、准士官又ハ下士官ニ代フルニ兵科又ハ機關科ノ特務士 官、准士官又ハ下士官ヲ以テ充ツルコトヲ得	特 務	士 官	主 計	工 作	機 關	飛 行	整 備	軍 醫	機 關	機 關	少 佐	兵 科	主 計	主 計	軍 醫	軍 醫	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關	機 關		
	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	
	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人	二十八人
	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人	二十七人
兵	下 士 官	准 士 官	主 計	看 護	工 作	機 關	整 備	水	主 計	看 護	工 作	機 關	整 備	飛 行	兵 曹	主 計	看 護	工 作	機 關	整 備	飛 行	兵 曹	主 計	看 護	工 作	機 關	整 備	飛 行	兵 曹		
二十七人	二十七人	二十六人	七十七人	十六人	十七人	十七人	十七人	十七人	二十六人	十四人	二十七人	二十六人	十四人	二十七人	二十七人	二十六人	十四人	二十七人	二十六人	十四人	二十七人	二十六人	十四人	二十七人	二十六人	十四人	二十七人	二十六人	十四人	二十七人	
二十七人	二十七人	二十五人	八十人	十七人	十七人	十七人	十七人	十七人	二十五人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	三十人	二十九人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	
二十七人	二十七人	二十六人	八十人	十七人	十七人	十七人	十七人	十七人	二十六人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	三十人	二十九人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	二十九人	十五人	三十人	

考 備	計		兼團、 教官附	教 官	分隊長 兼分隊長 主計長 團附	分隊長 兼分隊長 軍醫少佐、軍醫大尉	分隊長 軍醫中少佐	機關長 機關中少佐	分隊長 少佐、大尉	副官 少佐、大尉	副長 中佐	長 少將、大佐	舞 鶴
	特務士官	士官											
一 士官タル兼務教官ハ副長、機關長、軍醫長、主計長及各科分隊長ノ兼務トス	十五人	四十八人 <small>内兼務 三十一人</small>	主計特務中少尉	主計科大尉	主計中少佐	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫中少佐	機關中少佐	少佐、大尉	少佐、大尉	中佐	少將、大佐	舞 鶴
二 飛行科又ハ整備科武官ハ同官階ノ兵科又ハ機關科武官ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得	十五人	四十八人 <small>内兼務 三十一人</small>	主計特務中少尉	主計科大尉	主計中少佐	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫中少佐	機關中少佐	少佐、大尉	少佐、大尉	中佐	少將、大佐	舞 鶴
三 准士官ハ教員ニ充ツ	百八十四人	百六十二人	主計兵	看護兵	軍樂兵	工作兵	機關兵	整備兵	飛行兵	整備兵	飛行兵	兵曹長	舞 鶴
	百八十四人	百六十二人	四十三	十	十五	十	五十一	三	五十二	十五	二十八	五十二	舞 鶴
	百八十四人	百六十二人	十七	九	十七	二十四	二十八	十五	五十二	二	一	一	舞 鶴

0601

(別表)

(昭和十六年内令第千四百四十一號)

考 備		計	部 員	長	補 給 幕 僚 部 定 員 表
<p>一 部長ハ當該艦隊又ハ鎮守府ノ參謀長、部員ハ當該艦隊又ハ鎮守府ノ機關長、軍醫長又ハ主計長ヲ以テ各其ノ辭令ヲ用ヒズシテ之ニ充ツルモノトス但シ部員タルベキ者ニシテ部長ヨリ上席ナルモノハ此ノ限ニ在ラズ</p> <p>二 本表ノ外部員及附ヲ置キ當該艦隊又ハ鎮守府ノ司令長官ノ指定スル者ヲ以テ各其ノ辭令ヲ用ヒズシテ之ニ充ツルモノトス</p>		士 官	<p>軍醫中少將、軍醫大佐</p> <p>主計中少將、主計大佐</p>	<p>中 少 將、大 佐</p> <p>機 關 大 佐</p>	
		四人	— — — —		

0602

内令提
要登載

内令第四百四十二號

海軍特別根據地隊令中左ノ通改正セララル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條第一項中「支那」ノ下ニ「及南洋」ヲ加フ

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三七頁参照)

内令提
要登載

内令第四百四十三號

海軍特別根據地隊ノ所管、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セララル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一五六三

(前送ノ分ト引換ノ上舊紙ハ燒却相成度)

0603

内令提
要登載

内令

一五六四

横須賀鎮守府

厦門方面特別根據地隊

厦門

ヲ

横須賀鎮守府

厦門方面特別根據地隊

厦門

佐世保鎮守府

第十一特別根據地隊

西貢

ニ改ム

吳鎮守府

第三十二特別根據地隊

第三艦隊司令長官ノ定ムル地

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三八ノ五頁参照)

内令第四百四十四號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府第三艦隊ノ部中「第三海軍軍需部」ノ項ヲ削リ吳鎮守府ノ部中

0604

第三艦隊	第百一海軍燃料廠	徳山又ハ第三艦隊司令 長官ノ定ムル地
------	----------	-----------------------

ヲ

第三艦隊	第三海軍軍需部	吳又ハ第三艦隊司令長 官ノ定ムル地
	第百一海軍燃料廠	徳山又ハ第三艦隊司令 長官ノ定ムル地

ニ改ム

横須賀鎮守府第四艦隊ノ部中

第四海軍軍需部	トラツク
---------	------

ヲ

第四海軍軍需部	トラツク
第四海軍工作部	トラツク

ニ改ム

舞鶴鎮守府ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

考備	第百一海軍燃料廠ノ補給部ハ之ヲ東京ニ置ク
----	----------------------

附 則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三八ノ二八頁参照)

内 令

一五六五

0605

内令提
要登載

内令

一五六六

内令第四百四十五號

昭和十五年内令第六百四十六號中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四海軍軍需部ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第四海軍工作部

第四艦隊各部ノ艦船及兵器並ニ工作物タル
有線通信装置ノ造修ニ關ス事項

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

参照 昭和十五年内令第六百四十六號ハ特設海軍工作部等ノ所掌區分等ヲ定ムルノ件ナリ（内令提要卷一、三八ノ三〇頁）

内令第四百四十六號

特設海軍航路部等ノ定員ノ件中左ノ通改正セラル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

0606

内令提
要登載

第四海軍工作部定員表ヲ別表ノ如ク定ム

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四五六ノ一四ノ五参照)

内令第四百四十七號

海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及種別ノ件中左ノ通改正セラレ

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部中

潮岬

丁

ヲ削ル

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

内令

一五六七

0607

内令提
委登載

内令

(内令提要卷一、二七頁参照)

内令第四百四十八號

特設通信隊及同分遣隊所在地、種別等ノ件中左ノ通改正セラル

昭和十六年十月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部

海南通信隊	海南島三亞	甲、丙	第一分遣隊	抱坡
			第二分遣隊	藤橋
				丁

ヲ

大阪通信隊	大阪市北區玉江町	甲、丙	守口分遣隊	大阪
			潮岬分遣隊	潮岬
			第一分遣隊	抱坡
			第二分遣隊	藤橋
				乙
				丁

ニ改ム

附則

一五六八

0608

内令提
要登載

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十六年内令第六號参照)

内令第千四百四十九號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セララル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設通信隊定員表中「沖繩、」ノ下ニ「大阪、」ヲ加フ

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、五七一頁参照)

内令提
要登載

内令第千四百五十號

特設艦船部隊特修兵配置表中左ノ通改正ス

内令

一五六九

0609

内令

一五七〇

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設通信隊ノ部中「沖繩、」ノ下ニ「大阪、」ヲ加フ

同表備考第十四號中「沖繩、」ノ下ニ「大阪、」ヲ加フ

附則

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、五八七頁参照)

内令提要
登録

内令第四百五十一號

特設艦船部隊令中左ノ通改正セラル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條第二號中「特設掃海隊」ノ次ニ「特設哨戒艇隊」ヲ加フ

第十一條ノ二中「海軍軍人」ノ下ニ「海軍豫備員タル者ヲ除ク」ヲ加フ

0610

第十二條 監督官ハ所屬長官ニ隸シ軍艦ニ準シ船内ノ軍紀風紀ヲ維持シ軍事ニ關スル事項ヲ總理ス
第十三條中「又」ノ下ニ「軍屬ニ非サル」ヲ加ヘ「船長ヲ」ヲ「船長ニ指示」ニ改ム
第十七條ノ二中「海軍軍人」ノ下ニ「(海軍豫備員タル者ヲ除ク)」ヲ加フ

第十八條ノ二 自衛兵器ヲ有スル特設運送船ニシテ監督官ヲ置カサル場合ニ於テハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ警戒隊トシテ軍人ヲ乗船セシムルヲ例トシ其ノ長ハ所屬長官ノ命ヲ承ケ自衛兵器ノ使用ニ任シ且船長ニ對シ軍事ニ關スル命令及報告ノ傳達ヲ掌ル

第十九條 船長ハ固有船務中軍事ニ關スル事項ニ付監督官ノ命ヲ承ケ服務スルノ外監督官ノ指示ニ依リ軍屬ニ非サル固有船員ヲ指揮シ軍事關係以外ノ固有船務ヲ處理ス

第二十條 削除

第二十一條 船長以外ノ固有船員ハ監督官ノ命ヲ承ケ服務スルノ外軍屬ニ非サルモノハ船長ノ指揮ヲ承ク

第四十九條ノ三第二項中「聯合艦隊司令長官又ハ艦隊司令長官」ヲ「所屬長官」ニ改ム

第十四章題名中「特設掃海隊、」ノ下ニ「特設哨戒艇隊、」ヲ加フ

第五十八條中「特設掃海艇二隻以上ヲ」ノ下ニ「特設哨戒艇隊ハ哨戒艇及其ノ他ノ特務艇二隻以

内 令

一五七一

0611

内令

一五七二

上ヲ「第三掃海隊」ノ下ニ「第四哨戒艇隊」ヲ加フ

第五十九條ノニ 特設哨戒艇隊ニ左ノ職員ヲ置キ其ノ職務ニ付テハ驅逐隊、潜水隊、水雷隊、掃海隊、驅潜隊令ヲ準用ス

司令

機關長

軍醫長

主計長

前項ノ職員ノ外特設哨戒艇隊ニ編入セララル哨戒艇ノ乗員ニ充ツル爲左ノ職員ヲ置キ驅逐艦ノ職員ニ準シ服務スルモノトス

哨戒艇長

分隊長

隊附 士官、特務士官、准士官、下士官、兵

(内令提要卷一、四七頁参照)

0612

(別表第十一ノ二)

(昭和十六年内令第千四百四十六號)

第四ノ海軍工作部定員表	
長	機關大 中 佐 一
副部長	機關科、造船科、造兵科 佐尉官 二
部員	主計科 佐尉官 一
計	七、官 四人、判任文官 四人
備	一 必要ニ應ジ部員及副部員タル士官ニハ技師ヲ以テ充ツルコトヲ得 二 本表定員中部長及部員機關科、造船科、造兵科佐尉官一人ハ海軍艦政本部造船造兵監督官ヲ兼務スルモノトス 三 海軍大臣ハ必要ニ應ジ本表ノ定員ヲ臨時増減スルコトヲ得
考	書 記 一 技 手 三

0613

内令
要登載

内令
要登載

内令第四百五十二號

特設艦船部隊職員服務規程中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六條中「且船長ノ定ムル」ヲ削ル

第十一條中「船長ヲシテヲ」削ル

第二十八條中「特設掃海隊」ノ下ニ「特設哨戒艇隊」ヲ加フ

(内令提要卷一、五九頁参照)

内令第四百五十三號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セララル

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設哨戒艇隊定員表ヲ別表ノ如ク定ム

内令

一五七三

0614

内令提
要登載

内令

一五七四

第三十四表ノ二ヲ第三十四表ノ三、第三十四表ノ三ヲ第三十四表ノ四、第三十四表ノ四ヲ第三十四表ノ五トス

特設艦隊補缺班定員表備考中「三分ノ一」ヲ「四分ノ一」ニ改ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四九七頁参照)

内令第四百五十四號

特設哨戒艇隊定員表別表ノ通定ム

本令ハ昭和十六年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年十一月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(別表一葉添)

0615

第三十四表ノ二

特設哨戒艇隊定員表

本定員ハ當分ノ間海軍大臣之ヲ定ム

(昭和十六年内令第千四百五十三號)

0616

(別表)

特設哨戒艇隊定員表

(昭和十六年内令第千四百五十四號)

考 二 特修兵ハ適宜トス	備 一 本表ノ外特設哨戒艇隊ノ哨戒艇ノ乗員ニ充ツル爲各哨戒艇乗員標準ニ依ル人員ヲ定員ニ増 加ス但シ少佐、大尉ハ特設哨戒艇隊哨戒艇長兼分隊長トシ其ノ他ノモノハ特設哨戒艇隊附ト ス	計 士	官	四人	司令 大 中 佐	一	機關長 機關科 佐尉官	一	軍醫長 軍醫科 尉官	一	主計長 主計科 尉官	一	主計兵 曹長	一
		下 士	官	四人	兵 曹	一	看護兵 曹	一	主計兵 曹	二	准 士	官	一人	

0617

内令第四百五十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第五百五十五號中「二十三人(掌電信兵(暗號)三)」ヲ「三人(特修兵適宜(暗號))」

ニ改ム

昭和十六年十一月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

高雄海軍通信隊

兵 曹、水 兵 三十人(掌電信兵(暗號)一〇〇)

第一通信隊

特務中少尉、兵曹長 附 四人

兵 曹、水 兵 九十三人(掌電信兵(暗號)二七)

機關兵曹、機關兵 二十六人(掌機兵(暗號)六)

看護兵曹、看護兵 三人

主計兵曹、主計兵 五人

内令

一五七五

0618

内令

一五七六

第二通信隊

兵 曹、水 兵

三十一人 (特修兵適宜 (暗號) 一九)

機關兵曹、機關兵

十三人 (掌機兵 内火 三)

主計兵曹、主計兵

三人

参照 前記内令ハ第一聯合通信隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千四百五十六號

昭和十七年内令第七一三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年十一月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三艦隊司令部

特務中少尉、兵曹長

附 六人 (佐世保鎮守府在籍者)

兵 曹、水 兵

八十三人 (掌電機兵 (掌電機兵 内火 一三) 一三七)

機關兵曹、機關兵

三十二人 (掌電機兵 内火 一四九)

0619

内令
要登載

第十一航空艦隊司令部

兵 曹、水 兵

二十人(掌電信兵)

内令第四百五十七號

昭和十六年内令第千二百五十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月十八日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第三防備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「茨城丸」ヲ、第四防備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「白鷗丸 壽滿丸」
ヲ、第六防備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「第五愛鷹丸、鷹壽丸」ヲ、第七防備隊ノ項特設監視艇ノ欄
ニ「第二海風丸」ヲ加フ

(昭和十六年内令第千二百五十三號ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ)

内令

一五七七

0620